

Rotary



ロータリーは
機会の扉を開く

国際ロータリー第2720地区

2020～2021年度

地区大会

ごあんない

大会前日

2021年

3/13 土

ホテル日航熊本

会長・幹事・ガバナー補佐会議

地区指導者育成セミナー

RI会長代理歓迎晩餐会

本会議

3/14 日

熊本城ホール

本会議

記念講演会

「ロータリーは無限の可能性

情熱で夢を未来に届けよう」

「今こそ心ひとつに！」

WITHロータリー」



国際ロータリー第2720地区
2020-2021年度ガバナー

硯川 昭一



地区大会実行委員長

青木 祐心

RI第2720地区会員の皆様へ

国際ロータリー第2720地区の地区大会を、硯川ガバナーのもと、来る2021年3月13日・14日新装されました熊本城ホールとホテル日航熊本において開催致します。2016年4月に起きました熊本地震や本年7月の豪雨災害により、多くの方々被災されました。熊本市民・熊本県民のみならずその爪痕は簡単に拭い去ることは出来ません。しかし幸いにも私たちロータリアンは日本中のみならず世界中にネットワークが広がっています。災害復興のご支援も国内外から頂き、今日少しずつではありますが着実に復興を果たしつつあります。今大会のメインとなります熊本城ホールは復興のシンボルとして最新の設備と環境の中に新築されました。

新型コロナウイルスの流行により、地区大会の開催についてもいろいろ議論を致しましたが、細心の注意を払いながら粛々と開催する運びとなりました。第2720地区の会員の皆様にもコロナ禍に於ける事業の自粛や予防などで大変な時期であろうと存じますが、是非熊本城ホールに足を運んで頂き、硯川ガバナーの情熱とリーダーシップを感じて下さい。ホストクラブ・コホストクラブ会員一同心よりお待ち申し上げます。

記念講演・映画上映



監督
行定 勲

1968年生まれ、熊本県出身。2000年『ひまわり』が、第5回釜山国際映画祭で国際批評家連盟賞を受賞し、演出力のある新鋭として期待を集め、01年の『GO』で第25回日本アカデミー賞最優秀監督賞を始め数々の映画賞を総なめにし一躍脚光を浴びる。04年『世界の中心で、愛をさけぶ』は興行収入85億円のヒットを記録し社会現象となった。以降、『北の零年』(05)、『春の雪』(05)、『クロズド・ノート』(07)、『今度は愛妻家』(10)、『パレード』(10)/第60回ベルリン国際映画祭パノラマ部門・国際批評家連盟賞受賞、『円卓』(14)、日中合同作品『真夜中の五分前』(14)、『ピンクとグレー』(16)、故郷・熊本を舞台に撮影した『うつくしいひと』(16)、日活ロマンポルリブート『ジムノベディに乱れる』(16)、『うつくしいひと サバ?』(17)、『ナラタージュ』(17)がある。2018年2月に岡崎京子原作『リパース・エッジ』(第68回ベルリン国際映画祭パノラマ部門オープニング作品)が公開され、同映画祭にて国際批評家連盟賞を受賞した。4月には自身がディレクターを務める『くまもと復興映画祭』で新作『いっちゃんすかん』を上映するなど熊本の復興にも精力的に関わる。また映画だけでなく舞台『趣味の部屋』(13,15)、『ブエノスアイレス午前零時』(14)、『タンゴ・冬の終わりに』(15)などの舞台演出も手掛け、その功績が認められ16年、毎日芸術賞 演劇部門寄託賞の第18回千田是也賞を受賞した。また『うつくしいひと』『うつくしいひと サバ?』Blu-ray&DVDが発売中で、その売上げの一部は、チャリティーとして熊本復興のために寄付される。